



希望に出会い、多様な境遇を乗り越えて、自分らしく生き抜く社会人を育成する。

千葉県立東葛飾高等学校 定時制の課程



東葛飾高校は2024年に100周年を迎えました

スクールポリシー

1 グラデュエーション・ポリシー (卒業までに育成を目指す資質能力)

定時制の教育活動を通じて希望に出会い、多様な境遇を乗り越えて、自分らしく生き抜く社会人を育成します。

- 1 社会生活で必要となる基礎学力や技能・資格等の取得
- 2 就労に結びつく基本的生活習慣や、自己を肯定してあきらめない姿勢の獲得
- 3 自立を目指すためのコミュニケーション能力や社会とつながっていく力の獲得

2 カリキュラム・ポリシー (在校中の教育課程)

- (1) 毎日学校に通うことで生活リズムを身に付けることやあきらめない姿勢を獲得することを重視し、学校生活全般においてあいさつを励行すること、ルール・マナーを守ることなど基本的生活習慣の確立に取り組みます。
- (2) ホームルーム活動や行事等での教員や生徒間相互の交流を通して、思いやりの心を育むなど社会人として必要な倫理観や社会性を身に付けさせます。
- (3) 様々な学習履歴に応じた学び直し、少人数授業やチームティーチング、ICTの活用等を通じて、わかる授業の提供と多様な学習支援を図り、基礎学力の向上を目指します。
- (4) 3・4年次では、興味関心に応じた選択少人数授業や資格等の取得を含めた実学的な授業を提供し、実社会で生きる教養や就労に向けた意識づけに取り組みます。
- (5) 常駐するSCやSSWを活用し、生徒のメンタル相談や教育支援にかかわる外部機関との連携など、教育相談の機能を最大限利用して心身や経済等の不安を軽減し、安心安全な教育環境の構築に努めます。
- (6) 保健教育、健康相談、歯の検診、感染症対策、食の健康指導等を通じて、生涯にわたる健康意識の増進を図ります。
- (7) 計画的な進路ガイダンスの実施、若者サポートステーションやハローワーク等の就労支援機関との連携を通して、多面的に個に応じた進路支援の充実を図ります。
- (8) 資格や技能習得に向けた支援の充実に加え、体験的な学びや就業体験等を奨励するなど、自己肯定感やコミュニケーション能力を高める指導の充実にも努めます。

3 アドミッション・ポリシー (入学時に求める生徒像)

- 次のいずれかに該当する生徒
- ア 定時制課程を志願する動機が明確で、学業と勤労の両立を目指す者。
 - イ 自ら学ぼうとする意欲があり、卒業後の進路を見据えて学校生活を真面目に送ることができる者。

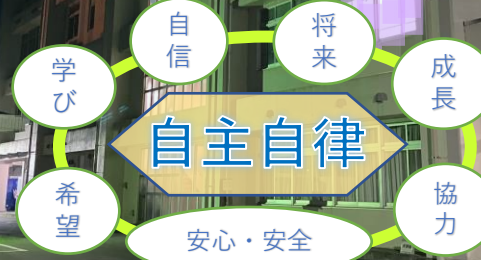
生徒の将来像

自分らしく生き抜く社会人を育成

めざす学校像

Well-Being

- すべての生徒と教職員が幸せな生活を送れる、Well-beingを実感できる学校
- 保護者と地域の方々に信頼される学校



東葛飾高等学校定時制での学び

行動理念 経営重点

- 1 **スクール・ポリシーに掲げる教育方針の実現に全力を尽くします。**
 - 学習指導要領の着実な実施と生徒の資質・能力の育成
 - ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」のある授業
- 2 **「ステューデント・ファースト」で生徒一人一人の成長を支援します。**
 - エージェンシーの育成と自己肯定感の向上
 - (Agency : 変革を起こすために目標を設定し、振り返りながら、責任ある行動をとる能力)
 - 個に応じたきめ細やかな支援
 - 生徒の主体的な活動を重視した教育活動の展開
- 3 **カリキュラムマネジメントによる教育活動の質の向上を目指します。**
 - PDCAサイクルに基づくカリキュラムマネジメントの推進
 - 100周年、次の100年に向けた取組の推進
 - キャリア教育、道徳教育、特別支援教育、SDGsの充実・推進
- 4 **保護者・地域社会に開かれた教育課程を推進します。**
 - 「チーム東葛」で報告連絡相談を密にした教育活動の展開
 - 保護者・地域との連携したコミュニティスクールの推進と次代の社会の担い手の育成
- 5 **持続可能な学校運営を目指します。**
 - 学校の最大のリスクである不祥事の防止と危機管理
 - ライフワークバランスを意識した勤務と「働きやすさ」と「働きたい」の両立した働き方改革の推進

○ 学力向上

アクティブラーニングおよびICT活用を積極的に行い、一人ひとりがわかる授業を展開します。基礎基本の定着を徹底しつつ、応用力の育成に力を入れます。

○ 進路実現

計画的なキャリア教育により自己理解を深め、それぞれの進路実現を目指します。ハローワークなどと協力し、幅広い就職活動も充実させます。

○ 学校生活

4年間の学校生活を通してコミュニケーション能力の育成や、基本的な生活習慣の確立を目指します。また、生徒会を中心とした学校行事の運営により、多くの生徒が活躍できる場を提供します。

○ 指導体制の充実

生徒一人ひとりと向き合う時間の確保に努め、適切な助言指導力の向上を目指します。清掃活動を通して、学習環境の整備に生徒自ら取り組む姿勢を育てます。

○ 定時制で学ぶということ

1・2年次は中学校での学びをいかしながら、基礎的基本的な力の定着を徹底します。また、3・4年次では進路実現に向けた幅広い科目選択があります。自分の進路や興味関心に合わせながら、自ら意欲的に進路実現を目指す学校です。

生徒会活動を中心に学校行事などの運営に主体的に生徒自身に関わることで、豊かな人間性を育みます。